



Free for All

西欧の小国で先進的な取り組み

もうチケットは不要! ルクセンブルクで公共交通料金が完全無償化

ドイツやフランス、ベルギーなどに隣接する西欧の小国ルクセンブルク。面積こそ小さいが、国民一人当たりのGDPは世界一を誇る裕福なこの国の悩みの一つには、自動車保有率の高さに加え、隣国からの通勤者も多いことに起因する交通渋滞、そしてそれが引き起こす大気汚染がある。これらの問題を根本から解決する思い切った試みが始まった。全国の公共交通の完全無料化である。

本誌ウェブサイトでは、ニュース映像の視聴やボキャビルの音声を聴くことができます。詳細は別冊付録の裏表紙をご覧ください。

リンダ・キンケイド記者の
発音と話し方の特徴



オーストラリア英語

速さ: ★★★★★ 発音: ★★★★★

語彙: ★★★★★ 総合: ★★★★★

[★聞き取りやすい ↔ ★★★★★ 難しい]

オーストラリア英語の特徴の一つは独特のリエゾンと抑揚。文字では抑揚を表現しにくいですが、英・米・豪の中でオーストラリア英語は最も言葉一つ一つの輪郭がにじみ、ぼやけたイメージ。すなわち甘めの滑舌に感じる。



キーワード

ニュースを聴く前にチェックしておこう

35

- | | | |
|---|---------------|-----------------|
| <input type="checkbox"/> public transit | [trænzət] | 公共交通機関 |
| <input type="checkbox"/> fare | [féə] | 運賃、乗車料金 |
| <input type="checkbox"/> mobility | [məʊbɪləti] | 動きやすさ、移動性 |
| <input type="checkbox"/> congestion | [kəndʒɛstʃən] | (交通・道路の)混雑、渋滞 |
| <input type="checkbox"/> make sense | [séns] | 道理にかなう、理にかなっている |
| <input type="checkbox"/> commuter | [kəm.ju:teɪ] | 通勤者、通学者 |
| <input type="checkbox"/> traffic jam | [træfɪk] | 交通渋滞 |
| <input type="checkbox"/> incentive | [ɪnsɛntɪv] | 誘因、動機、インセンティブ |
| <input type="checkbox"/> gold standard | [stændəd] | 最良の判断基準、究極の判断基準 |
| <input type="checkbox"/> follow suit | [fə'ləʊ] | 先例にならう、後に続く |

Luxembourg is the first country in the world/ to make public transit free for all.// Who doesn't like that?// As Lynda Kinkade found out,/ they're hoping/ this idea will help clear up the streets and the air.//

* * *

From trams to buses to train[s], there are no more tickets to buy or fares to pay/ in Luxembourg.// Charges for public transportation are now a thing of the past.//

“The main reason is to have better quality of mobility.// And then the side reason is, clearly, also, environmental issues—/ climate change, for example.”// (Francois Bausch, Luxembourg mobility minister)



ルクセンブルクは世界で初めて全国における公共交通機関の完全無料化に踏み切った

public transit:
公共交通機関
free:
無料の
find out:
~を知る
help (to) do:
~するのに役立つ
clear up:
~をきれいにする、片付ける
tram:
路面電車
There are no more...:
...はもはやない
ticket:
切符、乗車券
fare:
運賃、乗車料金
charge:
料金
public transportation:
公共交通機関
a thing of the past:
過去のもの、過去の遺物
quality:
質、品質
mobility:
動きやすさ、移動性 ▶ここでは交通の利便性・スムーズさを指す。
side:
副次的な、付随する
clearly:
明らかに、言うまでもなく
environmental issue:
環境問題
climate change:
気候変動
mobility minister:
交通大臣

ニュース1では、スラッシュリーディングおよびスラッシュリーディングの参考として、情報・意味のまとまりごとにスラッシュ(/)を入れています

ルクセンブルクは世界で初めての国です/ あらゆる人に対して公共交通機関を無料化した(国)。// 誰もが喜ぶますよね。// リンダ・キンケイド記者の取材によると/ 当局は期待しています/ この方策が街路と空気をきれいにする一助となるだろうと。//

* * *

路面電車からバスや列車まで/ もう乗車券を買う必要も運賃を払う必要もありません/ ルクセンブルクでは。// 公共交通機関の料金は、今や過去のものとなったのです。//

「主な理由は交通の質を向上させることです。// そして副次的な理由としてはもちろん、環境問題もあります—/ 例えば気候変動です。// (フランソワ・バウシュ ルクセンブルクの交通大臣)

理解のポイント

- ▶▶▶ ① は否定形の修飾疑問文なので、意味としては肯定文(ここではEverybody likes that.)になる。
- ▶▶▶ ② のように、動詞helpのあとに不定詞をおくときは、toを省略して〈help+動詞の原形〉とすることが多い。
- ▶▶▶ ③ のように、「AからBやCまで」と表現したいときは〈from A to B to C〉のようになる。
- ▶▶▶ ④ のように、AとBを両方否定したいときには、(no A and Bではなく) no A or Bとなる。ここでは「切符を買うことも、運賃を払うことも、いずれもない」がno more tickets to buy or fares to payとなっている。